

Full-Drive 1 User Manual



各コントロールについて

- VOLUME** 音量を調節します。
- TONE** アクティブ・トレブル・ブーストまたはカット回路です。12時の位置から反時計回りに回すとハイゲインのリード・サウンドがよりスムーズになり、時計回りに回すとカットされ、コンプレッション感が減ります。
- OVERDRIVE** より歪ませたい場合は時計回りに回し、よりクリーンなサウンドを得たい場合や、歪みをあまり加えずにアンプの入力をブーストしたい場合は10時より下で調節します。
- CLIPPING switch** **CC = Comp-Cut mode:**
V = Vintage mode:
通常のダイオード・クリッピングで、強い中音域を表現します。
FM = Flat-Mids mode:
独自のフィードバック回路を採用しており、信号をクリッピング・セクションに戻すことで中域の一部をキャンセルし、非常にオープンでナチュラルなオーバードライブ・サウンドを作り出します。
- ON/OFF Footswitch** オン / オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

- INPUT** 1/4" モノラル標準フォン入力端子
- OUTPUT** 1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス電源で動作します。

BATTERY

9 ボルト電池での動作が可能です。
電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

FD1 について

Fulltone Full-Drive2 は、常にチューブ・スクリーマー・キラーでした。オリジナルの Full-Drive2 は、すべてのクリッピング・ダイオードを除去し、最も頑固な真空管アンプの入力を打ちのめす凶悪な Comp-Cut (CC) モードで輝いていました。その後、Flat-Mids (FM) モードが追加され、ややオープンでミッドレンジが抑えられた、よりナチュラルなサウンドになりました。旧型の Full-Drive2 の欠点はそのサイズと、多くの人が "Boost " チャンネルをあまり使わないという事実でした。そのため、90年代初期の Full-Drive2 のようなサウンドの小型のシングル・チャンネル・バージョンの Full-Drive が市場に求められてきました。
Full-Drive1 (FD1) は JRC4558 オペアンプ、フルサイズのオーディオファイル・グレードのコンデンサー、9V バッテリー使用可能、9-18VDC 動作、防弾仕様の小型スチール筐体、トップマウント・ジャック、トウルー・バイパス、FD2 よりもウオームな 90年代初期の Comp-Cut モード、さらにナチュラルなサウンドの Flat-Mids モード、ゴージャスでカットスルー・ザ・ミックスマな MIDRANGE ですが、倍音成分が多く、豊かなサステインの Vintage(V) モードを搭載した待望のモデルです。